

教科	キャリア教育科	科目	(学) キャリアデザインγ	単位数	1	学年	3	
学科 ・ コース	普通科 総合キャリアコース							
教科書	なし		副 教 材	コーポレートアクセス (教育と探求社)				
科目の概要	<p>キャリア教育の集大成として、自分の生き方や、働くことをどうとらえるかを考える科目です。日本を代表する企業の「インターン」として、課題解決に取り組む「コーポレートアクセス」で構成されています。コーポレートアクセスでは、各社が大切にしている価値を調べた上で、「自分たちの目線」で考え、プレゼンテーションで成果を報告します。チームで協力して独創的なアイデアを形にし、楽しく主体的に取り組むことが求められます。</p>			評価の観点	<p>a.知識、技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストの内容を理解できたか。</li> <li>・発表や探究に必要なツールをきちんと使うことができたか。</li> </ul> <p>b.思考、表現、判断</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・創意工夫を持って、課題に取り組めたか。</li> <li>・聞き手が分かりやすく、楽しいと感じるまとめ方や伝え方ができたか。</li> </ul> <p>c.主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課された課題を理解し、意欲的に取り組めたか。</li> <li>・期限の内にどれだけ深く、課題を追求することができたか。</li> </ul>			
				評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専用のホームページを用いた日々の活動報告による評価</li> <li>・調査報告、プレゼンテーションによる評価</li> <li>・テキストの取り組み評価</li> <li>・探究物の自己評価及び相互評価</li> </ul>			
授業内容	1学期	コーポレートアクセス チーム作りとインターン先の決定		学習方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットの正しく有効な使い方を学んでください。</li> <li>・企業からのミッションに、期日を守って答えられるよう、インターンとしての意識を持って授業を受けてください。取り組み状況によっては授業時間外の活動も必要になります。</li> </ul>			
	2学期	新人研修への取り組みと報告 調査課題への取り組みと報告 ミッションへの取り組みと報告 プレゼンテーション作成						
	3学期	取り組みの発表と振り返り		備考				

教科	キャリア教育科	科目	(学) 学園連携授業 (英会話)	単位数	2	学年	3
学科 ・ コース	普通科 総合キャリアコース						
教科書	なし		副 教 材	プリント教材			
科目 の 概 要	英語を「ことば」として捉え、コミュニケーションのためのことばの知識・技能の習得に特化した授業を展開する。 様々な場面を想定した会話や、幅広いトピックについてのプレゼンテーションに触れる機会を多く設け、実用的な語学力の育成を目標とする。			評価 の 観 点	<b>【 知識・技能 】</b> 外国語の音声や語彙の理解を深めるとともに、実際のコミュニケーションにおいて目的や場面により適切に活用できる技能を身に付けている。 <b>【 思考・判断・表現 】</b> 日常的・社会的な話題について、外国語で概要や要点、話し手の意図を理解したり、これらを活用し適切に表現できている。 <b>【 主体的に学習に取り組む態度 】</b> 背景にある文化に対する理解を深め、聞き手や読み手に配慮しながら、主体的かつ自律的にコミュニケーションを図ろうとしている。		
				評価 方 法	定期考査は行わず、授業内の取り組みで評価する。 ・リスニング ・プレゼンテーション ・ペアワーク、グループワーク ・小テスト		
	1 学期 Classroom English / Family / Childhood Speech – Life Mind Map 2 学期 Dreams・goals / World Cultures / Social Media / World News / Business etiquette Speech - Job・University Ent Interview 3 学期 World Countries / Speech – Skit (or Debate)			学 習 方 法	授業の予習、復習、グループワークやプレゼンテーションの準備		
授 業 内 容				備 考	使用教材、授業進度については変更の可能性はある。		

教科	キャリア教育科	科目	(学) 看護医療探究	単位数	2	学年	3
学科 ・ コース	普通科 看護医療進学コース						
教科書	なし		副 教 材	プリント教材			
科目の概要	<p>一・二年時に学んだ学習を踏まえて、看護・医療に関する知識をさらに発展させ活用する内容とする。</p> <p>看護・医療に関連した演習やフィールドワーク、ディスカッションをすることによって、自己の体験・学びを表現し、他者との意見交換により、物事を深く理解することを目標とする。</p> <p>将来、多様な看護医療分野で活躍する人材となるために、自ら学び続ける姿勢を持ち、主体的に自己の考えを表現し、他者の意見を理解することを学習の目標とする。</p> <p>経験や体験をきっかけに、自己および他者の考えを共有し、他者との価値観の違いを認め合えるような学習活動を取り入れる。</p>			評価の観点	<p>【知識・技能】看護の基礎知識を学び、専門用語の意味を正しく理解し、文章などで適切に表現することができるか。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】看護の演習・体験を通して感じたこと、考えたことを論理的にプレゼンテーションできるか、また文章で表現できているか。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】自分の考えを伝えるだけでなく他者の考えを聴き、相互に交流することを通して、医療現場で求められる対人能力を高めようと努めているか。看護を取り巻く社会状況に興味を持ち、自ら学び、相互理解に努めようとしているか。</p>		
	授業内容	<p>学期ごとにテーマを設定して、そのテーマに関連したキーワードを中心に、内容と関連性を学ぶ。</p> <p>以下は、学期ごとの学習テーマ。</p> <p>【一学期】看護の演習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*子どもの理解と演習</li> <li>*子どもを取り巻く環境の理解</li> <li>*子どもの教育に関わる看護</li> </ul> <p>【二学期】母性看護の演習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*妊娠から出産、育児までの演習</li> <li>*リプロダクティブヘルス</li> </ul> <p>【三学期】国際と看護</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*世界の医療と看護</li> </ul>			評価方法	<p>学期ごとの評価とする。原則、定期考査は行わず、レポートや小テスト、授業内の取り組み状況によって評価する。また、家庭学習の提出状況・内容なども重視した評価とする。</p>	
				学習方法	<p>事前に配付された資料を授業までに必ず読む。そして、読めない言葉や意味のわからない語句などを事前に調べておく。</p> <p>授業では、演習や体験を通して、自らの考えを整理し、ノートにまとめ記述する。復習として、他者とのディスカッションを通して、気づいたことを付け加え、理解を深めていく。</p>		
				備考	<p>iPad を活用した探究活動も適宜行う。</p>		

教科	キャリア教育科	科目	(学) 看護特論	単位数	1	学年	3
学科 ・ コース	普通科 看護医療進学コース						
教科書	なし		副 教 材	プリント（入試過去問題）教材			
科目 の 概 要	<p>看護国語、看護医療探究、総合的な探究の時間の学びと連動させながら、看護系四年制大学進学に向けて、入試対策を行う科目である。主に国語・英語の問題を扱いながら、生徒の希望進路に応じて、適宜、数学・理科・小論文・面接などの演習と実践を行う。</p> <p>生徒の学習到達度を見極めて難易度や学習内容を変更する可能性もあるが、基礎問題から難関大学の入試問題まで幅広く取り扱っていく。</p> <p>小論文対策ではテーマに基づいて、「話す・聞く・まとめる・書く」力を伸ばすためにグループワークなどでの意見交換や発表の機会をつくる。また、面接対策では、模擬面接を複数回実施するなどして対策を行う。</p>			評 価 の 観 点	<p>【知識・技能】主に授業内で取り組む入試過去問題の点数や小論文・面接などに関する基礎知識をもとに評価する。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】学んだことを整理し、自分の考えを他者に論理的かつわかりやすく伝えることができるか。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】自分の考えを伝えるだけでなく他者の考えを聴き、相互に交流することを通して、医療現場で求められる対人能力を伸ばそうと努力しているか。授業で解けなかった問題を復習できているか、学びの定着に向けてどのような努力をしているか、その結果を分析し次に活かしているか、などの観点で評価する。</p>		
授 業 内 容	<p>【一学期】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>志望理由書・自己PR文の作成</li> <li>小論文の作成</li> <li>入試過去問題などの演習</li> </ul> <p>【二学期】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小論文の作成</li> <li>面接対策</li> <li>入試過去問題などの演習</li> </ul> <p>【三学期】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>レポート（高校での看護の学びをまとめる）</li> <li>入試過去問題などの演習</li> </ul>			評 価 方 法	<p>原則、定期考査は行わず、授業内で解いた入試過去問題の点数、レポートや小テスト、学習意欲、授業内の取り組み状況、学習到達度によって評価する。</p>		
				学 習 方 法	<p>予習・復習をはじめとして、与えられた学習課題にしっかりと取り組む。特に復習を重点的に行う。</p> <p>進路決定に向けて、しっかりと自分と向き合い、積極的な姿勢で学習にのぞむ。問題演習・小論文作成では、語彙などの知識の習得と解法の定着の両方をめざす。</p>		
				備 考	<p>模擬試験・入試日程とその受験方法に合わせて、適切に対策を行う。</p>		